

**平成26年度
兵庫県高等学校教育研究会
情報部会**

研究発表大会

平成26年12月4日(木) 12:20~16:50
神戸大学附属中等教育学校
神戸市東灘区住吉山手5丁目11番1号

兵庫県高等学校教育研究会情報部会

平成26年度事務局 兵庫県立有馬高等学校
〒669-1531 兵庫県三田市天神2丁目1番50号
電話番号 079-563-2881 FAX番号 079-563-2882
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~johobukai/>
johobukai@hyogo-c.ed.jp

後 援

兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会

平成26年度 兵庫県高等学校教育研究会情報部会 研究発表大会 次第

受付 12:00~12:20

1 開会式 **Kobeプロ教室** 12:20~12:40

(1) 開会挨拶

兵庫県高等学校教育研究会情報部会会長（兵庫県東播工業高等学校長） 岩田 薫

(2) 来賓挨拶

(3) 来賓紹介

2 ワークショップ 12:50~13:50

① ワークショップ1 **Kobeプロ教室**

【演題】「授業におけるタブレットの活用方法について」

【講師】富山国際大学付属高等学校 教諭 橋本 知彦

② ワークショップ2 **第1情報室**

【内容】「 Moodle を活用した授業の研究」

【講師】県立赤穂高等学校（定時制課程） 教諭 有田 顕泰

3 研究発表 14:00~15:00

本年度1年間の取り組み **Kobeプロ教室**

(1) 本年度1年間の取り組み 「情報モラル教材の作成」

兵庫県立伊川谷高等学校 教諭 難波 伸也

兵庫県立千種高等学校 教諭 戎原 進一

(2) 情報採用者による授業実践 「LINEを題材としたグループワーク実践」

兵庫県姫路別所高等学校 教諭 稲岡 武宏

4 講演会 **Kobeプロ教室** 15:10~16:40

【演題】「LINEのご紹介と子どもにネットを使わせる際の注意事項」

【講師】LINE株式会社 政策企画室 CSR推進チーム 松竹谷 尚子 氏

5 閉会式 **Kobeプロ教室** 16:40~16:50

閉会挨拶

兵庫県高等学校教育研究会情報部会副会長（県立あわじ特別支援学校校長） 上田 浩嗣

「Moodle を活用した授業の研究」

県立赤穂高等学校（定時制課程）
教諭 有田 顕泰

1. Moodleとは

Moodleはオンライン(webブラウザ)で利用可能な学習管理ソフトウェアの一つである。教材の提供、学習履歴の管理や授業評価など、多くの機能がある。

Moodleは、webベースで利用できる無料のアプリケーションであるため、導入のために最低限用意すべきものは、Windows/Linuxが動作するWebサーバである。

コンテンツの作成や授業に活用する場合は、Webブラウザ経由でサーバにアクセスすればよく、ソフトウェアの追加インストールが必要ないところが本ソフトウェアの特徴である。

2. ワークショップの目的

本ワークショップでは、Moodleの導入のヒント、できること、授業で活用するヒントを、研究グループの成果として還元することを目的としている。

3. Moodle研究グループでの活用事例

本研究グループでは、昨年度、大きくわけて、以下の5つの活用事例について研究した。

- 教材・資料配付（リソースモジュール）
教材をファイルで配布することができる。ペーパーレスとなり教材管理の省力化につながる。当日休んだ生徒がいても、Moodleを見ればプリントがあるという状態にしておけば、プリントをもらっていないということが起こらない。
- 小テストの実施(小テストモジュール)
選択問題、記述式、計算問題など、様々な出題形式の小テストを作成することができる。試験に解答した結果（正誤等）は提出後、即座にわかり、生徒の理解促進につなげることができる。
- 確認問題の実施(レッスンモジュール)
小テストと違い、1問ずつ生徒に出題する。1問解答するたびに解説を出す、正誤の状況に応じて出題の形を変えるなど、きめ細かに流れを予め指定することができ、生徒の理解を促すことができる。
- 相互評価やアンケートの実施（フィードバックモジュール）
アンケートや相互評価など、生徒同士で意見交換させるためのものとして活用できる。アンケートは、誰が回答したか、どういう集計結果か、などをリアルタイムに集計しグラフに表示できる。また、集計結果をエクセル形式でエクスポートできるため、結果を別の学習活動に活用することも可能である。
- 共同編集(wikiモジュール)
生徒同士でチームを作り、調べ学習した結果を協力してwebページにまとめることができる。
編集した結果をみんなで閲覧、確認し、後日の資料とすることができる。

情報モラル教材の作成

難波 伸也*¹

*¹兵庫県立伊川谷高等学校・教諭

戒原 進一*²

*²兵庫県立千種高等学校・教諭

【要約】

「Twitter」での発言や、スマートフォンで撮影した写真など位置情報を付加した状態で情報発信をすることで、発信した場所や個人が特定できることを理解させる教材を考えた。

1 はじめに

情報部会研究部では本年度の研究活動の主題を、「情報モラル教材の作成」とした。その一環として、地区別研修会では「情報モラルに関する協議」を行った。その際、参加者からは、「生徒が身近な問題として考えてくれる教材を用意し授業を行いたい」という意見が多く聞かれた。そこで、研究部では、本年度の研究主題を実現するものとして、「生徒が身近な問題として考えられる教材」を検討することとした。そして、授業実践可能なものとして以下のものを考えた。

- ①「Twitter」で位置情報を付けて発言すると、発言した場所が地図上に反映されるサイト(「ちずツイ」(図1)や「TwitterMap」)を利用し、発言した場所を特定できたり、個人を特定できたりすることを理解させる。

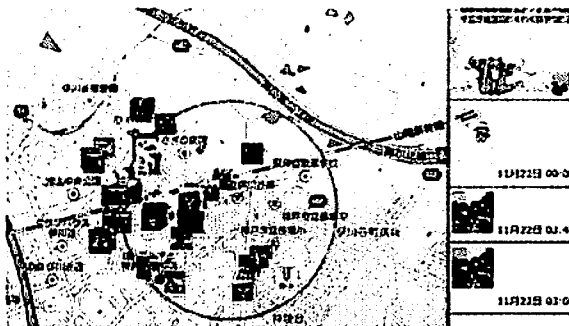


図1 「ちずツイ」

- ②スマートフォンで撮影した場所の位置情報を付加する設定をし、画像位置情報取得できるソフトを利用し、位置情報付きの写真から撮影した場所を特定できたり、個人を特定でき

たりすることを理解させる。

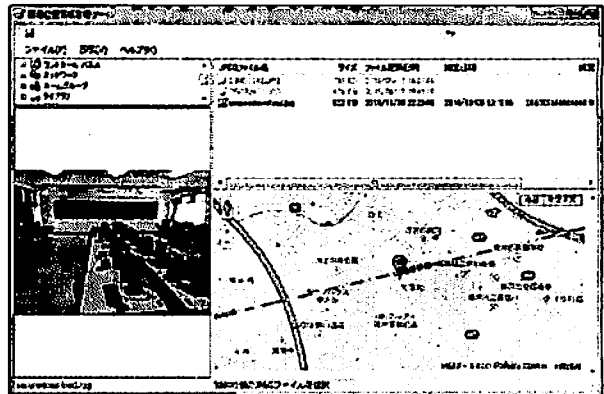


図2 「画像位置情報取得ツール」

2 本研究の仮説として

「Twitter」をしている生徒は多いが、「Twitter」の設定で、位置情報を付けて発言することができることを知らない生徒が大半である。そこで、今回のテーマは、位置情報を付けて発言すると、発言した場所や個人が特定できることを理解させることとした。

今回は、インターネット上のサイト、「ちずツイ」や「TwitterMap」等、SNSでの発言に付加された位置情報を表示することが出来るサービスを提供しているサイトを利用した。これらのサービスを利用することにより、普段気軽に利用しているSNSサービスで、自らの位置情報や個人情報が漏れる可能性があることを生徒に理解させる必要がある。また、スマートフォンで撮った写真には、位置情報(Exif情報)を付加することができる。

撮った写真の位置情報を地図上に反映させることができるソフト（「画像位置情報取得ツール」）を用いることで、写真を撮影した場所を取得することが可能である。SNS サービスの普及で、写真などを公開するケースも多く、不用意に個人情報を漏らしてしまうケースもあることを理解させる必要がある。

3 授業実践について

(1) 伊川谷高校の場合

ア 実習前アンケート

- ①「Twitter」をしていますか。
- ②位置情報付きでツイートすると場所が特定できることを知っていますか。
- ③写真に撮影場所の位置情報を付けることができることを知っていますか。

イ 実習

(7) 「Twitter」の発言を地図上に反映

「Twitter」での発言に位置情報を付ける設定を説明する。その後、教師が事前に「Twitter」で発言した情報を「ちずツイ」で確認する。

(4) 写真の撮影場所を地図上で確認

教師が事前に撮影した位置情報付きの写真を「画像位置情報取得ツール」で確認する。

ウ 実習後アンケート

- ①位置情報付きのツイートをするので場所が特定できることを理解できましたか。
- ②位置情報付きのツイートをするので個人を特定できることを理解できましたか。
- ③位置情報付きの写真の場所を特定できることを理解できましたか。
- ④位置情報付きの写真が個人を特定できることを理解できましたか。

(2) 千種高校の場合

ア GPS と個人情報の関係について説明

- ①GPS とは。
- ②GPS 付の携帯電話でできること。

イ 実習前アンケート

- ①「Twitter」をしていますか。
- ②位置情報付きでツイートすると場所が特定できることを知っていますか。
- ③写真に撮影場所の位置情報を付けることができることを知っていますか。

ウ 実習

(7) 位置情報付きの「Twitter」の発言を地図上で確認

位置情報を付けた「Twitter」での発言が地図上で確認できることを説明する。その後、教師が事前に「Twitter」で発言した情報を「ちずツイ」で確認する。

(4) 位置情報付きの写真がどこで撮影されたのかを調べる

位置情報付きの写真から撮影場所を特定できるソフトを利用し、教師が事前に撮影した位置情報付きの写真を使って、場所を特定する。

エ 実習後アンケート

- ①位置情報付きのツイートをするので場所が特定できることを理解できましたか。
- ②位置情報付きのツイートをするので個人を特定できることを理解できましたか。
- ③位置情報付きの写真の場所を特定できることを理解できましたか。
- ④位置情報付きの写真が個人を特定できることを理解できましたか。

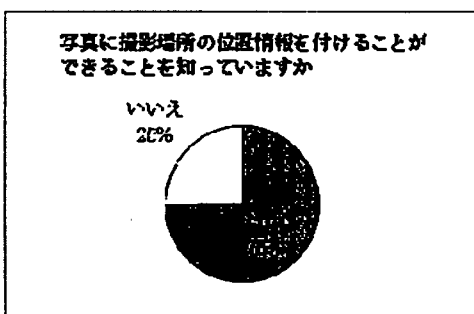
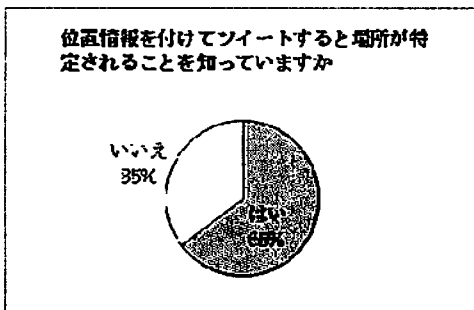
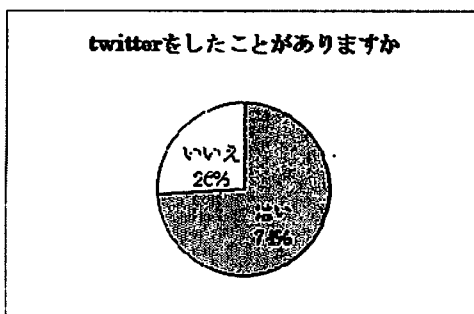
4 結果について

(1) 伊川谷高校の場合

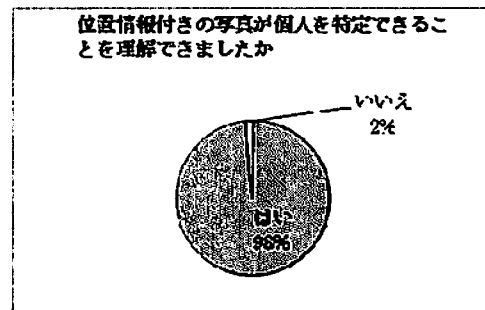
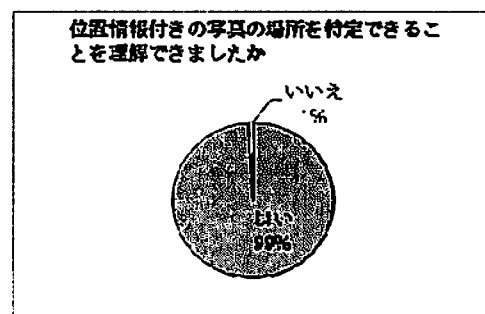
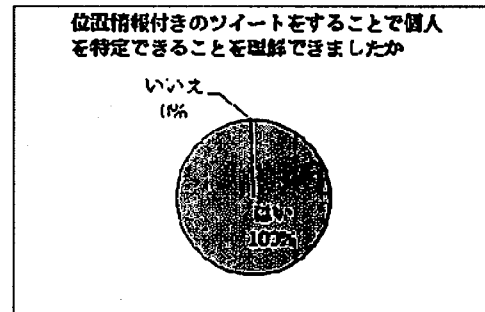
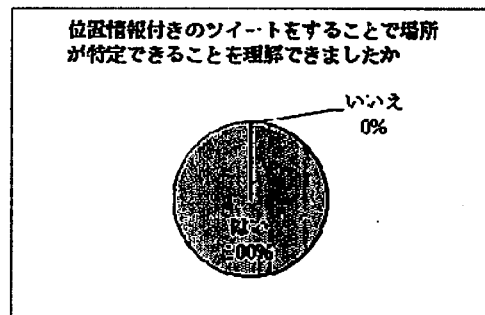
実習前アンケートで、ほとんどの生徒が「Twitter」をしていて、位置情報付きのツイートをするとう場所が特定されることも知っている生徒が多かった。しかし、位置情報付きの発言が地図上に反映させるサイトがあることは知らない生徒は多くいた。

また、スマートフォンで撮った写真にも位置情報がついていることを理解している生徒が多かった。実際に、ソフトを使って撮影場所が特定できるのを見て、位置情報付きの写真が場所を特定できることを理解することができた。

①実習前アンケート結果



②実習後アンケート結果



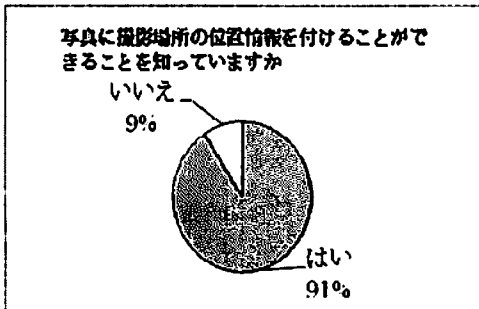
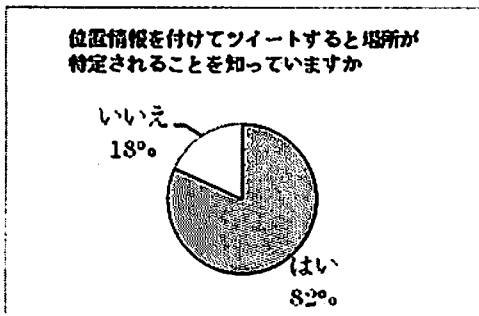
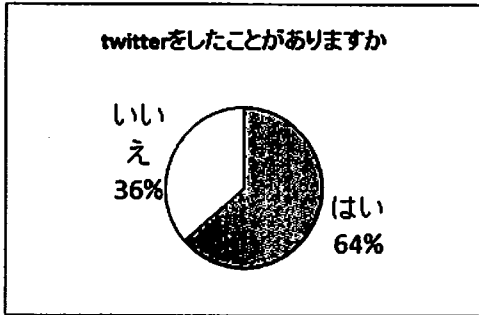
(2) 千種高校の場合

本校は、「心のサポートシステム研究開発校」として、平成25年度から情報モラルの向上に取り組んでいる。そのため、全生徒がGPSについての知識はあった。しかし、アンケート結果からGPSと「Twitter」や撮影された写真を関連させて考えることができていない生徒がいた。

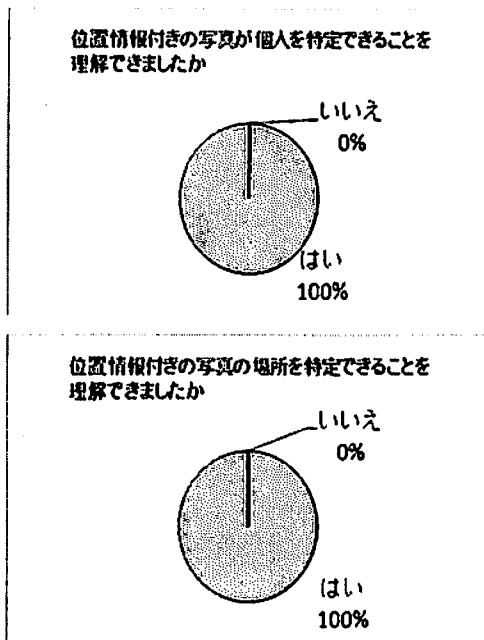
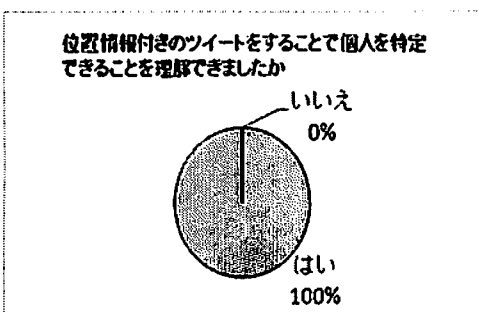
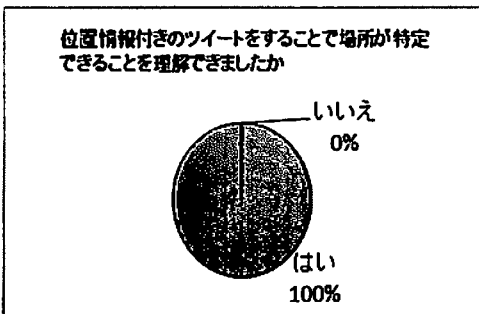
今回の実習を通して、全ての生徒がGPSと各アプリを関連させて考えることができるようになり、危険性を再確認できた。また

同時に、危険性だけではなく、GPS の可能性についても情報を提供することができ、生徒は GPS の有用性を考えることができた。

①実習前アンケート結果



②実習後アンケート結果



5 まとめ

両高校の授業実践から、以下のようなことが分かった。

- ①「Twitter」での発言や写真に位置情報を付けることができることを知っていた。
- ②実習を通して、大半の生徒が、位置情報を付けて情報発信することで、場所を特定したり、個人と特定できたりすることになることを理解した。
- ③SNS での発言に付加された位置情報を表示させるサービスを提供しているサイト(「ちずツイ」や「TwitterMap」)があることを知らない生徒が大半であった。そのようなサイトから不用意に個人情報を漏らしてしまうケースもあることを理解させることができた。

今回、情報モラル教材を、「生徒が身近な問題として考えられる教材」として、「Twitter」やスマートフォンのカメラを利用した教材を作成した。普段気軽に利用している SNS サービスやスマートフォンで撮ったカメラが、自らの位置情報や個人情報が漏れる可能性があることを生徒に理解させることができた。今後も、生徒が身近な問題として考えられる教材で情報モラル教材を作成し、その教材を授業に活用することで生徒の情報モラルの向上につなげる。

LINE を題材としたグループワーク実践

稲岡 武宏*¹

木村 拓磨*²

足立 美和子*³

*¹ 県立姫路別所高等学校・教諭 *² 県立姫路別所高等学校・教諭 *³ 県立姫路別所高等学校・臨時講師

【要約】

本稿では「社会と情報」で実施した、LINE を題材とした授業実践を紹介する。授業ではグループワークを通し、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度の育成を図ることを目的とした。「自分や友達を傷つけないためにはどうすればよいか」をテーマに、LINE の良いところ、悪いところ、LINE を用いた事件などを題材にグループワークを行い、生徒が主体的に考えて討議し、発表をすることで学習活動を展開した。

【キーワード】

言語活動 グループワーク LINE

1 はじめに

本校は昭和50年に「姫路市内で市川の東側に県立高校を」という地域の願いを受け、県立姫路東高等学校御国野舎として発足。翌昭和51年に県立姫路別所高等学校としてスタートし、本年40周年を迎えた。全日制普通科の学校として、1学年5クラス（定員200名）を設置している。

情報科の授業は1年生の「社会と情報」（2単位、必修）のほか、2、3年生では選択科目として「情報リテラシー」、「情報基礎実習」「情報活用」、「情報総合」（共同学習）、「情報の表現と管理」（共同学習）を選択、学習することができる。特徴としては、情報活用能力の育成を主眼とし、社会で実践的に役立つ力をつける授業内容を目指している。また、姫路特別支援学校分教室の生徒との共同学習を選択できる点も大きな特徴である。

授業態度はおおむね良好であるが、集中力に欠ける生徒もおり、テンポの良いメリハリのある授業を進めることが求められる。授業ではグループワークを中心におき、思考・判断したことを、説明、論述、討論等といった言語活動へ展開を図った。

2 授業背景

本校では、平成25年度より兵庫県立大学環境人間学部の竹内 和雄准教授と共同して、スマートフォンの危険性や注意点、使い方の調査など、さまざまな活動を行っている。また、生徒会が教職員へのLINEの講座を行うといった取り組みや、生徒会が生徒に対してスマートフォンのアンケート（LINEの調査を含む）を行うなど、生徒のLINEへの関心が高いと言える。こういった背景から、「社会と情報」の授業においてLINEを題材にグループワークを行なった。

3 授業実践

■LINEについて

LINEとは、LINE株式会社が提供するインスタントメッセージングである。2014年10月9日の発表では5億6千万人の利用者がいる。

メッセージを送れるだけでなく、音声や、動画画像などもやり取りできる。

■授業での実践について

授業では1クラス40人に対し、4人ごとのグループを作り、LINEの正と負、両方の部分を取り上げ、グループワークを行った。

グループワークでは6つの実習を行い、意見を出し合い、発表を行った。

グループワークで出てきた意見をまとめたものを次に示す。意見は5クラス200人、50グループ分を取りまとめた。

(1) 実習1

・「えーとこ」

LINEの便利な面について意見を出し合った。意見を集約してみると、「無料で使用できる」ところに集中した。また、電話のように1対1ではなく、「多数でコミュニケーションが取れるところ」にも多くの意見が集中した。

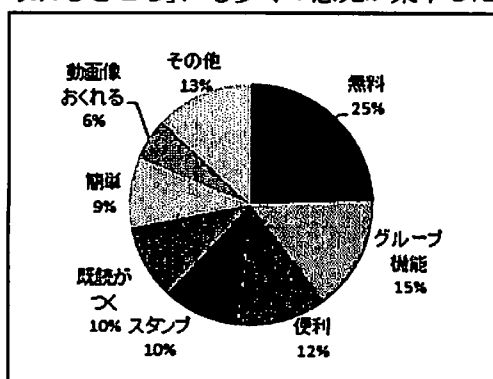


図1 えーとこ

・「あかんとこ」

LINEに対して不満のあるところについて、意見を出し合った。既読機能、知らない人から登録される、なりすまし等トラブルがある点などが意見として多く、その3つが半数近くの意見を占めた。この結果から、生徒たちは負の部分も理解しつつ、LINEを使用していることがわかる。

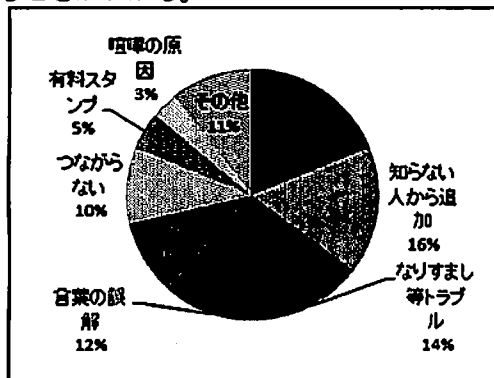


図2 あかんとこ

(2) 実習2

・こんな事件、知ってますか？

大阪で起きた、府議会議員と地元中学生のLINEでのトラブルを事例として挙げ、グループで意見を出し合って取りまとめた。

意見には、次のようなものが挙げられたが、集計を取れるほどまとまったデータを得ることはできなかった。

- ・何も知らない人からのLINE追加するべきではないと思った。
 - ・最初からよく分からない人とは関わらない。呼ばれても行かない。中学生相手にムキにならない。冷静になる。
 - ・議員の立場の人が、不服を申し立てる権利はない。
 - ・中学生がバカだった。
 - ・はじめて知り合った人とラインを交換するのはおかしいと思います。
 - ・トラブルが多い。
 - ・LINEって怖いなあと思った。
 - ・人に協力してもらったのに、その人をおどしてはいけない。
 - ・交換したことがおかしい。やっтерることが不審者。
 - ・おっさんが悪い。
 - ・お互いの立場をわきまえる。
 - ・やり方が汚い。
 - ・もともとLINEのIDを名刺に書くことがおかしいでしょう。
 - ・どっちもどっち。
 - ・中学生とLINEすることがおかしいと思う。
 - ・こわい、きもちわるい。
 - ・なぜLINEを交換したのかわからない。
- など。

(3) 実習3

・LINE で体験した「嫌な言葉」「誤解を招く言葉」

嫌な言葉、誤解を招く言葉について意見を出し合ったが、あまり一つの言葉に意見が集中することなく、全体的にばらけた。「死ね」や「うざい」「消えろ」などの言葉が共通して見られたが、それでも全体の3分の1ほどであった。また、特に嫌な言葉を体験したことはない、という生徒もいた。

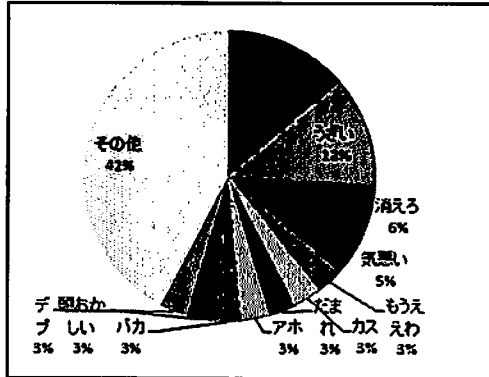


図3 嫌な言葉

(4) 実習4

・LINE で体験した「嬉しかった言葉」とその時の気持ち。

嬉しかった言葉は、嫌な言葉とは逆に意見が集中し、感謝の言葉や応援の言葉などが多かった。「ありがとう」「がんばろう」「大丈夫」などが半数近くを占めた。

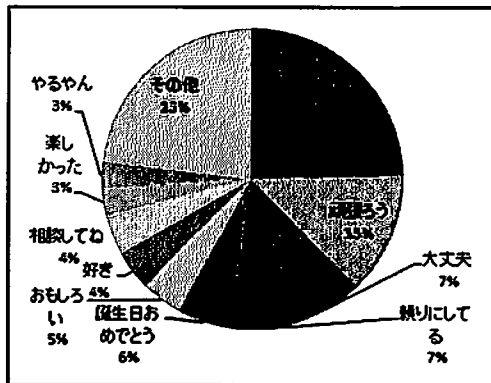


図4 嬉しかった言葉

(5) 実習5

・LINE の「既読スルー」「既読無視」「未読スルー」って何がつらいの？

「既読スルー」「未読スルー」などにしぼって、返信が来ないときにどのような気持ちになる

のか意見を出し合った。

全体的に、返事がないことからの不安から、負の考えに流され、否定的な気持ちになることがわかった。

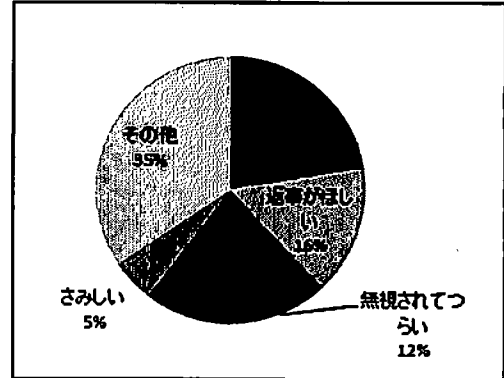


図5 既読スルー、既読無視

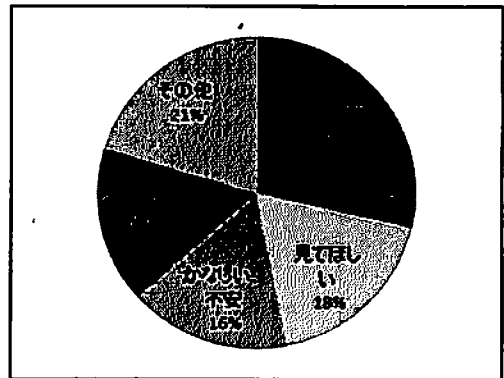


図6 未読スルー

(6) 実習6

・どんなルールがありますか？

LINE を使用するうえで、何かルールがあるか、あれば、どのようなルールなのか意見を調査した。

自分たちで出来る範囲のルールを決めているのが大半であったが、10%ほどは何もルールがないという意見も見られた。

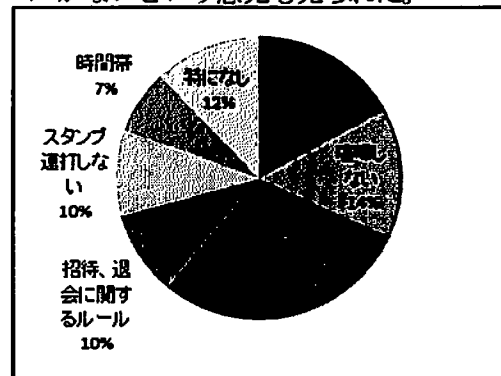


図7 どんなルールがありますか？

・あるといいなルール

あるといいなと思うルールについて意見を出し合い、グループワークを行った。出てきた意見には、LINEに機能を追加しないと無理と思われるようなものから、それぞれルールを決めれば実現できそうなものまで、さまざまな意見が見受けられた。

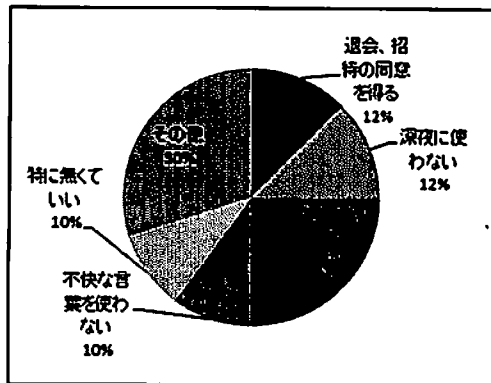


図8 あるといいなルール

4 グループワークを通してわかったこと

■高校生のLINE普及率は、ほぼ100% (LINEがわからない子がほとんどいない)

授業において、LINEがわからないという生徒がいなかった。逆に、教員では3割程度しかLINEを使用しておらず、生徒と教員での差は大きかった。

■「スタ連」など、新しい言葉が生まれている

LINEに関連する新しい言葉が生まれており、生徒たちが何を言っているのか理解できず、授業中にどのような意味を持つ言葉なのかを問う場面がいくつかあった。

生徒たちは、新しい言葉を当然のように使いこなしているが、そこからは生活の中に情報技術を用いたコミュニケーションツールが空気のように存在し、それを使うのが当たり前の社会になっているのがわかる。

さらに、授業の中でも、キーボードを扱うより携帯電話のほうが文字を打ちやすいという生徒もおり、その点からもコミュニケーションの手段がパソコンなどを用いたものから携帯電話を通したのものへ移り変わってきている点

が実感できる。

■誰に言われるでもなく、自分たちでルールを作成していることがほとんどである。

新しい遊びを創るかのごとく、自分たちでルールをつくり、円滑なコミュニケーションをとれるよう工夫している。新しいツールとして、生活の中に浸透していることが見て取れるが、実際にルールを作って守れているか、また、できない、しないという現実もあるのではないかと考えられる。今回はそこまで踏み込んだグループワークができなかったため詳細は不明であるが、今後の課題として考えていきたい。

5 まとめ

本校の生徒は内向的な者が多く、発表でしり込みする場面が多かった。教員がかわりに発表内容を読み上げるなど、補助を必要とすることもあった。しかし今回の実習では、普段のLINEの使い方や、やり取りの様子などをごまかすことなく素直に答え、授業が滞ることはなかった。

今回の実践を通して、我々教員側も知らないような言葉を知ることができ、生徒たちから学ぶ場面も多かった。

昨年までの本校の特徴として、比較的元気な者が多く、授業に集中できなかつたり、関係のないことを話し続けるなど、グループワークが難しい生徒がおり、この授業を行うにあたり若干不安のある環境ではあった。しかし、それを良い意味で裏切られる、しっかりしたグループワークを行うことができた。

今後の展開として、このようなグループワークを授業の中で増やし、生徒のコミュニケーション能力の向上や、新しい情報技術・情報モラルの学習など、さまざまな場面に活かせるよう、題材の充実を図っていきたい。

情報部会誌（平成 26 年度 Vol.7） 原稿の募集について

1 テーマ

- ・教科「情報」授業実践の記録
- ・「情報活用の実践力」の育成に関するもの
- ・「情報の科学的な理解」の育成に関するもの
- ・「情報モラル」の育成に関するもの
- ・その他、情報教育に関するもの（教材資料の開発など）

2 執筆要領

- ・兵庫県高等学校教育研究会情報部会 (<http://www.hyogo-c.ed.jp/~johobukai/>)
「会誌原稿執筆の手引き」(MS-Word版・PDF版)を参照

3 投稿要領

- ・件名 情報部会誌投稿
- ・本文 (1) タイトル
(2) 著作者 … 名前、所属名、職名
(3) 内容のあらまし (200字程度)
(4) 連絡先 … 名前 (ふりがな)、メールアドレス、
郵便番号、住所、電話番号、FAX番号
(5) 補足 (あればご記入ください)
- ・添付ファイル (1) 原稿ファイル (MS-Word 版および PDF 版)
(2) 原稿ファイルに添付の図、表、写真のオリジナルファイル
- ・宛先 情報部会 代表メールアドレス
johobukai@hyogo-c.ed.jp
- ・〆切 平成 27 年 1 月 23 日 (金)

開隆堂の情報 教材・図書

新刊 ソーシャルメディア社会の教育 マルチコミュニティにおける情報教育の新科学化

松原伸一 著
A5判 160頁/定価 本体 2,300円+税



- 情報通信技術の進展による“社会の情報化”にともない“情報の社会化”が進む世界を鋭く分析。
- ソーシャルメディア社会の特徴を示して、新たに“情報学修”を提案。
- 情報やメディアの教育(学習)に関心をお持ちの方には必読の書。

情報学教育の新しいステージ 情報とメディアの教育論

松原伸一 著
A5判 160頁/定価 本体 2,300円+税



- 既刊の『情報科教育法』をベースに、その後生じた社会の急速な変化や学習指導要領の改訂などに対応した書。
- 文理融合の情報学の視点を取り入れた、情報の基礎から応用発展までをわかりやすく展開しています。

ICT活用で授業を活性化！ デジタル教材かんたんレシピ

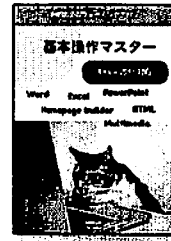
今田晃一 監修 大西久雄・細野弘美 著
B5判 128頁(うちカラー32頁、2色96頁)
定価 本体 2,000円+税



- プレゼンテーションソフトを使ったデジタル教材の作り方を紹介しています。
- デジタルカメラとコンピュータのつなぎ方から、ICTやiPodの活用による授業実践例も満載しています。
- 教科指導におけるICT活用指導力の向上を図る研修テキストとしてご利用ください。

近刊 情報実習のウォーミングアップ Office 2013 対応 基本操作マスター

高等学校情報教育研究会 著
B5判 128頁 オールカラー/定価 本体 750円+税



- 好評既刊『基本操作マスター』、『基本操作マスターⅡ』に続く新刊。
- Office 2013のWord、Excel、PowerPointのほか、Webページ作成ソフトウェアとHTML、VBAを使ったプログラムの作成、マルチメディアを扱っています。
- Windows 7、8、8.1に対応。

(表紙は変更となる場合があります)

ネット警備隊 ねっばとくん 一親、先生、子どもがともに考える情報モラル

作・画 おおにしひさお
B5判 96頁(うちカラー64頁)
定価 本体 2,000円+税

埼玉県PTA連合会推薦



- ネットにかかわる問題が肩肘張らず、漫画で楽しく読めます。また、学校や家庭で話し合うためのアプローチを提示している新しいタイプの書です。
- 情報モラルの指導で大切なのは、生徒一人ひとりがそれぞれの視点で考えていくことです。本書でそのきっかけをつくることができます。

平成26・27年度限定 指導用教材 技術分野・家庭分野 学校用デジタル教科書

技術分野/家庭分野
DVD-ROM各1枚 Windows Vista, 7 対応/解説書付
定価 各本体 22,000円(2年間限定価格)/スクールライセンス*

- 教科書(技術 723、家庭 723)完全準拠の指導用パソコンソフトです。
 - プロジェクタや電子黒板を利用して大きく映し出す。教科書の一部の拡大表示、画面上への文字の書き込み、マーキング等が可能です。
 - コンテンツ:教科書の画像データ、動画データ、アニメーション、パワーポイントでの教科書記載内容説明資料、プログラム、参考資料データなど。
- *スクールライセンスは、デジタル教科書をご購入いただいた学校内での利用に限ってコンピュータの台数や利用形態に制限なくご利用いただけるライセンスです。ネットワークを利用した複数校でのご利用には、校数分のライセンスのご購入が必要となります。



開隆堂出版株式会社

発行所の案内はホームページ
をご覧ください
<http://www.kairyudo.co.jp/>

本社：〒113-8608 東京都文京区向丘 1-13-1
北海道支社：〒060-0061 札幌市中央区南 1 条西 6 丁目 11 札幌北辰ビル 8 階
東北支社：〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町 1-11-1 萩野町 M ビル 2 階
名古屋支社：〒464-0802 名古屋市千種区星が丘元町 14-4 星ヶ丘プラザビル 6 階
大阪支社：〒550-0013 大阪市西区新町 2-10-16
九州支社：〒810-0075 福岡市中央区港 2-1-5 FYC ビル 3 階

TEL 03-5684-6118/FAX 03-5684-6155
TEL 011-231-0403/FAX 011-231-0404
TEL 022-782-8511/FAX 022-782-8513
TEL 052-789-1741/FAX 052-789-1743
TEL 06-6531-5782/FAX 06-6541-3425
TEL 092-733-0174/FAX 092-733-0179

「情報モラル」の参考書+別冊問題集 ポイント整理 情報モラル 6th Edition

1.身近な20事例を厳選!

携帯電話・スマートフォンを中心に、
高校生に身近な問題を20事例取り上げました。

2.最新の話題も紹介!

例)前見返し LINE, Twitter, Facebookの注意点
p.39 リベンジポルノ
p.41 デジタルタトゥーと忘れられる権利

3.書き込み式で豊富な演習が行えます。

内容確認問題と、書き込み式の別冊問題集で、基本事項がしっかりと身につきます。

※ 別冊問題集の解答は本冊中に掲載しています。解説を携帯電話から閲覧できます。
※ 本書は店売いたしません。ご採用校には、問題のWordデータ、書籍のPDFデータをご用意いたします。



B5判/本冊48頁・別冊16頁
本体価格400円+税

充実の副教材で情報科教育をサポート!

大好評!ミニマニュアルシリーズ

Office2013・Office2010・Office2007対応版

書名	判型	頁数	本体価格+税
これだけ!Office2013	B5判	160頁	686円+税
これだけ!Office2010	B5判	160頁	686円+税
これだけ!Office2007	B5判	160頁	686円+税
これだけ!ワード2013	B5判	56頁	362円+税
これだけ!ワード2010	B5判	56頁	362円+税
これだけ!ワード2007	B5判	56頁	362円+税
これだけ!エクセル2013	B5判	48頁	295円+税
これだけ!エクセル2010	B5判	48頁	295円+税
これだけ!エクセル2007	B5判	48頁	286円+税
これだけ!パワーポイント2013	B5判	40頁	276円+税
これだけ!パワーポイント2010	B5判	40頁	276円+税
これだけ!パワーポイント2007	B5判	40頁	267円+税

※ 本書は店売いたしません。Windows XP・98対応版などもございます。



- 1.実際の画面を多用し、順を追って操作しながら、使い方をマスターできるように工夫しています。
- 2.完成例を参照しながら学ぶことができます。
- 3.ソフトの操作や機能を学習しやすいよう、操作練習を豊富にご用意しています。
- 4.操作や機能を一通り学習した後、総合演習で確認できます。
- 5.指導計画案や追加問題、完成例などの関連データをホームページからダウンロードできます。

数研出版
http://www.chart.co.jp/

数研出版コールセンター
TEL 077-552-7500
FAX 077-552-7707

本社/東京・関西 支店/札幌・仙台・横浜・名古屋・広島・福岡

116日文 高等学校『情報』教科書

教科「情報」は新しいステージへ



社会と情報
社情 306



**見てわかる
社会と情報**
社情 307

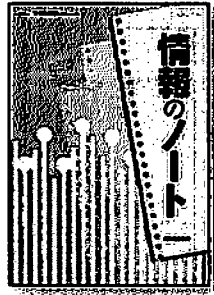


情報の科学
情科 305

教科「情報」サポート教材

新課程用教科書準拠 情報のノート

新学習指導要領に対応した教科書完全準拠の副教材です。これまでの「問題集」と「実習ノート」の機能を1冊にまとめ、「情報」の授業を多角的、かつ強力にサポートします。



- 情報のノート「社会と情報」
定価 518円(本体480円+税8%)
B5判 104頁 ISBN978-4-536-25287-4
- 情報のノート「見てわかる社会と情報」
定価 518円(本体480円+税8%)
B5判 104頁 ISBN978-4-536-25289-8
- 情報のノート「情報の科学」
定価 540円(本体500円+税8%)
B5判 120頁 ISBN978-4-536-25288-1

見てわかる情報モラル 第2版

情報モラルを「見て」学ぶ、デジタル世代のための解説書です。入学時のオリエンテーションなどにもご活用いただけます。



定価 406円(本体376円+税8%)
B5判 48頁 ISBN978-4-536-60063-7

コンピュータ入力問題集 第2版

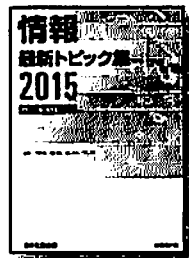
主要なアプリケーションソフトウェアの操作技術などの、基本的な情報リテラシーを取得できる問題を豊富に収録しました。



定価 617円(本体571円+税8%)
B5判 120頁 ISBN978-4-536-25280-5

情報最新トピック集 平成27年度用 新版

最新の「情報」を学ぶための68のトピックを厳選。最新で重要なトピック満載の資料集です。



定価 1,015円(本体940円+税8%)
B5判 176頁 ISBN978-4-536-25308-6
発行 日経BP社

「情報」教科書・情報のノートなどサポート教材の詳細はこちら

<http://nichibun.net/>

日本文教出版
<http://www.nichibun-g.co.jp/>

日本文教出版株式会社 お問い合わせは大阪本社業務部までお願いします。
大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5 TEL:06-6692-1261
東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16 TEL:03-3389-4611



事例を通じて「情報活用の実践力」を高める ケーススタディ情報リテラシー

ケーススタディ
情報リテラシー

新刊発行!

B5判 144頁

定価：本体価格 556円＋税

事例にもとづく学習で「情報活用の実践力」を高められます。

- ・ Word, Excel, PowerPointなどの活用方法を学習。
- ・ 統計処理やネットワークの活用方法も充実。
- ・ 専用 Web サイトで Windows8.1 対応資料や作例データなどを配信。

6 データの散らばり

データの散らばりによって、データの傾向や特徴が異なる。また、データの散らばりによって、データの傾向や特徴が異なる。



データの散らばりによって、データの傾向や特徴が異なる。また、データの散らばりによって、データの傾向や特徴が異なる。

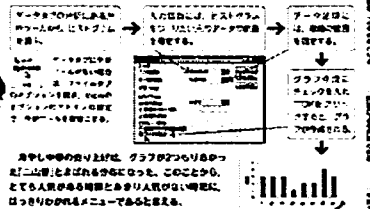
① ヒストグラム

ヒストグラムは、データの分布を視覚的に表現するためのグラフである。

ヒストグラムは、データの分布を視覚的に表現するためのグラフである。また、データの散らばりによって、データの傾向や特徴が異なる。

② ヒストグラムの作成

ヒストグラムの作成には、データの整理とグラフの作成が必要である。



③ ヒストグラムの活用

ヒストグラムは、データの傾向や特徴を理解するための有効なツールである。

ヒストグラムは、データの傾向や特徴を理解するための有効なツールである。また、データの散らばりによって、データの傾向や特徴が異なる。

事例と問題で「情報モラル」を理解する

ケーススタディ情報モラル ver.9

情報モラル ver.9

このサイト、このサイト、このサイト



ますます充実の ver.9!
B5判 104頁
定価：本体価格 495円＋税

16 音楽の著作権

ミュージック、レア、オサムの人、文化祭のステージで目撃されたグループ「Fragrance」のフジコを盗むことになりました。



音楽の著作権は、作曲者や演奏者に認められています。また、著作権を侵害することは違法行為です。

ここにご注意!

著作権は、創作した作品に認められる権利です。

著作権は、創作した作品に認められる権利です。また、著作権を侵害することは違法行為です。

ゴーストライク

ゴーストライクは、著作権を侵害する行為を防止するためのツールです。

著作権の侵害を防止するための対策として、著作権者や権利者による対策が実施されています。

- 著作権者による対策
- 権利者による対策
- 著作権者による対策
- 権利者による対策

著作権の侵害を防止するための対策として、著作権者や権利者による対策が実施されています。

- 事例にもとづく学習で「情報モラル」の意識を高められます。
- ・ あたらしい話題が充実。
 - ・ 巻末の問題で理解を確認。
 - ・ 専用 Web サイトで補充問題などを配信。
 - ・ 巻頭資料は Windows8.1 に対応。

第一学習社オンラインショップでも販売 <http://www.daiichi-g.jp/>

情報モラル テーマ12



- 少ない時間でも効率よく学べるように見開きで構成しています。
- 親しみやすいマンガで問題提起することで、生徒が主体的に考えられます。
- 厳選された12のテーマで、生徒の身近な問題を提起し、ワークシートに書き込ませることで、主体的に考えさせる工夫をしています。
- 教師用指導書付属DVD-ROMには、マンガの画像データを収録しました。教室のスクリーンなどに投影しながら授業を進めることができます。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 01. ルールとマナーの違い | 07. GPSの落とし穴 |
| 02. 撮影してもいいのかな | 08. インターネットでうわさ話 |
| 03. やめられない会員 | 09. なぜ知られたのか個人情報 |
| 04. 迷惑メールが止まらない | 10. キャラクターを使いたい |
| 05. だますためのメール | 11. 無料にはわけがある |
| 06. 掲示板の匿名性 | 12. 安心して安全なインターネット生活 |

B5判 / 32頁 / 4色刷 本体価格286円(税別)

iPad・Windows 8で学ぶ 社会と情報

高等学校学習者用

デジタル教科書



教科書紙面

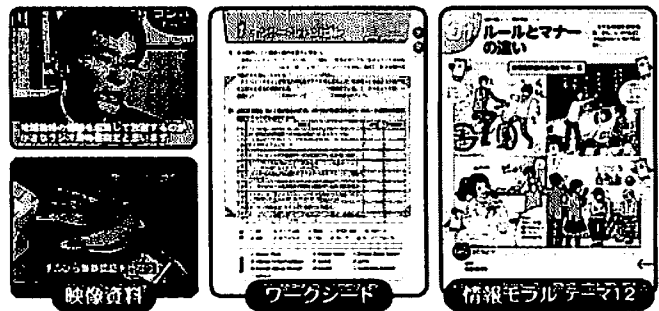
教科書をデジタル化し、
さらに特徴のある機能を搭載

- 教科書 資料集 **1台4役!** ノート 問題集

- 直感的に操作できるデジタル教材
- 実習編と理論編を行き来できる機能
- 理解を深めるための映像資料を多数収録

iPad版 4,300円(税別) | Windows8版 4,200円(税別) | iPad/Win for school版 2,000円(税別)

*価格は消費税により変更になることがあります。
*for school版は教科書部分のみを収録しています(問題集や辞書などは含まれません)。



映像資料

ワークシート

情報モラルテーマ12



お問い合わせは高校企画部 Tel:03-5390-7320 Fax:03-5390-7520
 関西圏高校支社 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-4-10 大阪東書ビル Tel:06-6397-1350 Fax:06-6397-1358
 ホームページ…http://www.tokyo-shoseki.co.jp 東書Eネット…http://ten.tokyo-shoseki.co.jp